

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/04/18

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	36.71	0.03
JPY/THB	0.2378	0.0006
USD/JPY	154.39	-0.33
EUR/THB	39.18	0.23
EUR/USD	1.0673	0.0054
USD/CNH	7.244	-0.020
SGD/THB	26.98	0.11
AUD/THB	23.62	0.14
USD/INR	83.54	0.00
USD Index	105.95	-0.31

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.538	0.036
10Y (THB)	2.768	0.022
5Y (USD)	4.615	-0.087
10Y (USD)	4.587	-0.080

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,371.7	-19.1
WTI (Oil)	82.69	-2.67
Copper	9,582.5	114.5

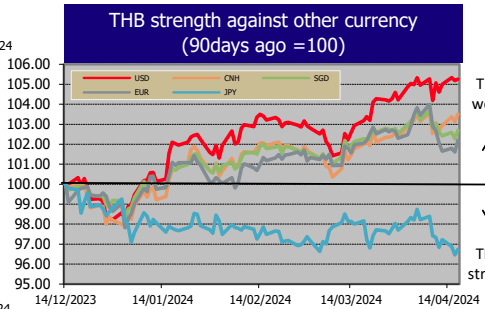
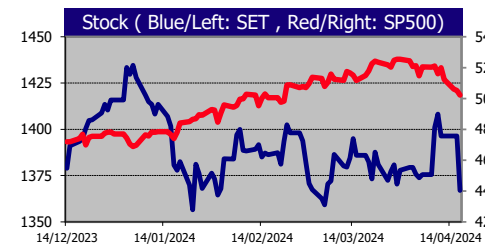
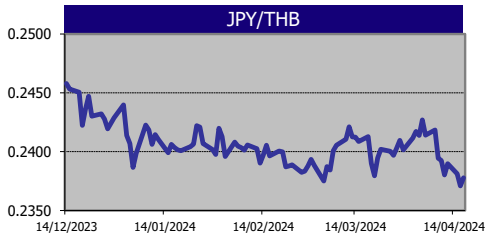
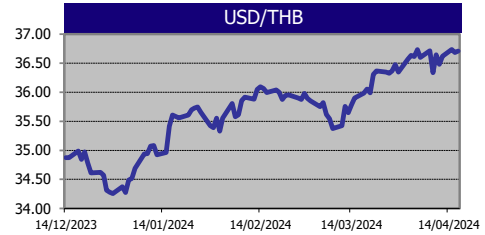
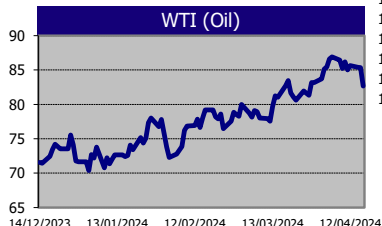
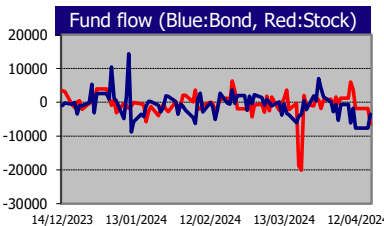
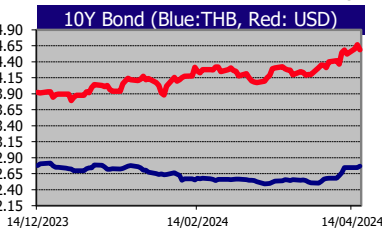
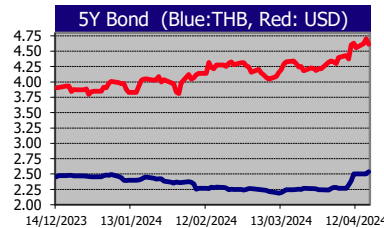
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,366.94	-29.44
NIKKEI (JP)	37,961.80	-509.40
DOW (US)	37,753.31	-45.66
S&P500 (US)	5,022.21	-29.20
SHCOMP (CN)	3,071.38	64.31
DAX(GER)	17,770.02	3.79

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(6,395)	-4579.1
Bond net flow	(3,510)	4156.5

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは上に往ってこいの展開。36パーツ台後半で取引を開始。米利下げ観測後退を背景にアジア通貨が全般的に対ドルで軟調な推移を見せる中、パーツが下げを牽引する格好となった。オープン早々からドルパーツは大きく上昇すると、バンコク時間正午頃には連日の年初来高値更新を記録。ただ、その後は米金利が低下に転じたこともあり、ドルパーツの上昇も一服。海外時間には特段注目の経済指標発表もない中、じりじりと下落を続け、終盤にかけてオープンと同水準まで値を戻し、36.71レベルで引けた。

●ドル円その他

・昨日のドル円は下落。154円台後半で取引を開始。介入警戒感の高まり、日経平均株価の軟調な推移、米金利の低下等を背景に円安の流れは一服し、154円台半ば付近での推移が継続。海外時間に入ってもしばらく同様の推移が続いたものの、日米韓の財務相会合にて「最近の円安及びウォン安に関する日韓の深刻な懸念」が表明されると、為替介入への警戒感が高まり、ドル円は一時154円台前半まで下落。しかし、その後発表されたベージュブックにて米国の物価について「一部製造業を中心とする地域において投入価格と生産価格の両方で物価上昇率の上振れリスクが当面続く」と示され、米金利が上昇に転じる動きにドル円も連れる格好となり、結局154.39レベルでクローズを迎えた。

Bangkok Dealer's Eye

足元為替市場では米国の利下げ観測後退を背景にドル独歩高の様相が強まっているが、遠のく米利下げの影響は株式市場にも現れ始めてきた。年初来主要国の中で最も好調だった日本株は昨日まで3日続落しており、本日も売り先行の状況だ。これまでの世界的な株高は、各国で安定成長が続く中で、インフレ低下とともに予防的な金融緩和が実施されるという思惑が前提だったはずだが、そのシナリオに陰りが見え始めてきたことが、最近の株安の背景と考える。ドル一強の環境は、通貨防衛の観点から特にアジア諸国の利下げを制約するとともに、結果として世界的な景気下振れリスクを高めることに留意が必要だろう。他方、ドル高への懸念の声は今のところ欧米からは出ておらず、主にアジアの国々のテーマに留まっているため、日本にとっては本日までワシントンで開催されているG20財務省・中央銀行総裁会議は重要なイベントになりそうだ。既に昨日の日米韓財務相会合では日韓両国の通貨安に対する懸念について米国側が留意する姿勢を示したとの報道もあり、こうした動きに主要国が同調するかに注目したい。日本の為替介入については為替操作との批判を回避するためG20前の実施を避けたとの見方もあるが、こうなると日韓による協調介入の可能性にも留意が必要か。G20後に金融市場が荒れる展開も想定しておきたい。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.